



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告 当社ホームページ (http://www.jti.co.jp/) に掲載 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 ■事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ■お問い合わせ先 郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (平日9:00 ~ 17:00) ■特別口座に関する手続用紙のご請求 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関 (☎0120-244-479) で24時間承っておりますので、ご利用ください。
------------------	---

株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。
---------	-----------------------------

日本たばこ産業株式会社
〒105-8422 東京都港区虎ノ門 2-2-1 JTビル
TEL 03-3582-3111 <http://www.jti.co.jp/>

この業績報告書は森林保護につながる
FSC® 認証紙を使用するとともに、
植物油インキを使用しています。



株主・投資家の皆さまへ

業績報告書

- 2012年3月期決算報告
- JT NEWS
- JTグループ商品のご紹介
- 「経営計画2012」について
- JT TOPICS
- 旅路の先で出会う温故知新



「変化への対応力」を強化し、 中長期にわたる持続的な 利益成長を目指します。

グローバル企業としての開示内容充実を目的に、
2012年3月期からIFRS（国際会計基準）を
任意適用いたしました。



代表取締役社長

小泉 光臣

このたび、代表取締役社長に就任いたしました小泉でございます。たばこ事業・医薬事業・食品事業の各事業において、お客様により一層ご満足いただける商品、サービスを提供するとともに、不確実性が高まっている経営環境の中にあっても変化に迅速かつ柔軟に対応し、持続的成長を成し遂げ、企業価値の増大に努めてまいります。

「JT-11」の総括

「JT-11」期間中は、計画策定時の想定を上回る厳しい事業環境となりましたが、力強い成長モメンタムにより、日本基準における全社 EBITDA（為替一定）は、3年前にお約束した年平均5%成長という目標を大きく上回り、8.3%の成長となりました。

配当性向につきましても、2011年度の1株当たり配当金を第3四半期見込から1,000円上方修正し、10,000円とすることにより、お約束した日本基準における配当性向目標30%を達成いたしました。

2012年3月期の総括

2012年3月期からIFRSを任意適用いたしました。

売上収益につきましては、国内のたばこ販売数量減少、及び円高影響等により、減収となりましたが、国内及び海外たばこ事業における単価上昇効果等により、営業利益、調整後 EBITDA はおのおの14.4%、10.6%の増益となりました。

当期利益（親会社の所有者帰属分）は、前年度の個別決算において計上した関係会社株式評価損を当年度において税務上損金算入することに伴う法人所得税費用の減少により、31.9%の増益となりました。

2013年3月期の予想

2013年3月期全社業績は、国内たばこ事業における販売数量増、及び海外たばこ事業におけ

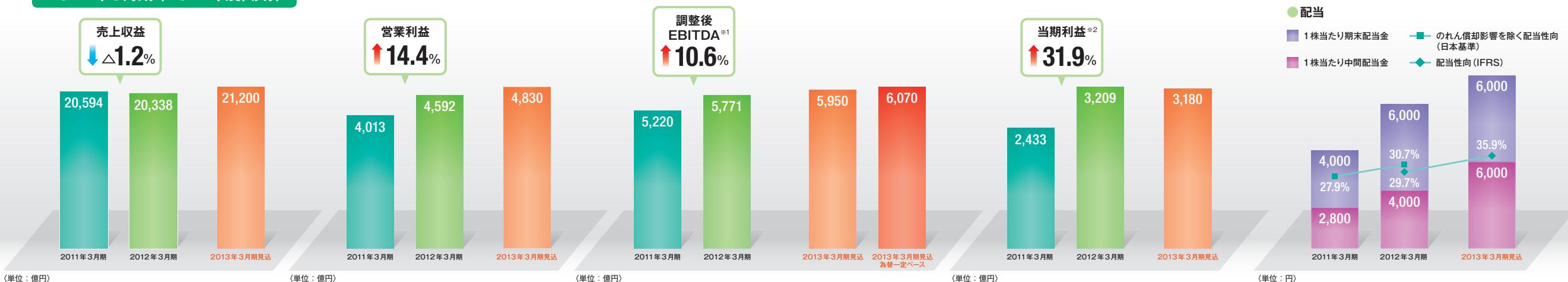
る単価上昇効果を中心としたトップライン成長により、増収増益を見込んでおります。

事業別では、国内たばこ事業は、販売数量増により対前年増収増益を見込んでおります。海外たばこ事業は価格戦略を成長ドライバーに、為替一定ベース調整後 EBITDA 10%成長を見込んでおります。

医薬事業は、後期開発品の開発の進展に伴い研究開発費が増加することから減益を見込んでおります。

飲料事業は、基幹ブランド「ルーツ」のさらなる成長の一方で営業力強化に向けた費用の増加を見込んでおりますが、加工食品事業において、ステープル（主食）へ集中することにより収益力の強化を図り、食品事業全体での増収増益を見込んでおります。

2012年3月期（2011年度）決算



※1 調整後 EBITDA = 営業利益 + 有形資産の減価償却費 + 無形資産の償却費 + のれんの減損 + リストラチャリング収益及び費用

※2 親会社所有者に帰属

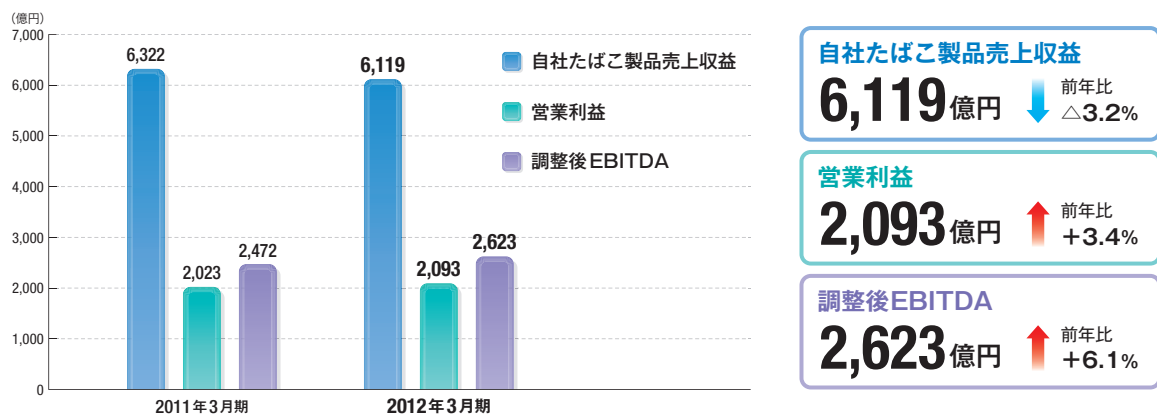
※2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行う予定だが、分割影響を考慮しない数値を掲載

国内 たばこ事業

調整後EBITDAは6.1%の増益、
3月単月シェアは目標の60%を達成

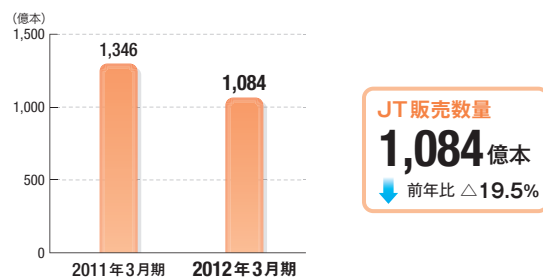
販売数量の減少を、単価上昇効果が一部相殺したものの、売上収益は減収となりました。調整後EBITDAは、単価上昇効果等により、増益となりました。引き続き、注力ブランドを中心とした積極的かつ効果的な新商品の投入、販売促進活動の展開等の施策を着実に実施し、競争力強化に取り組んでいきます。

国内たばこ事業実績



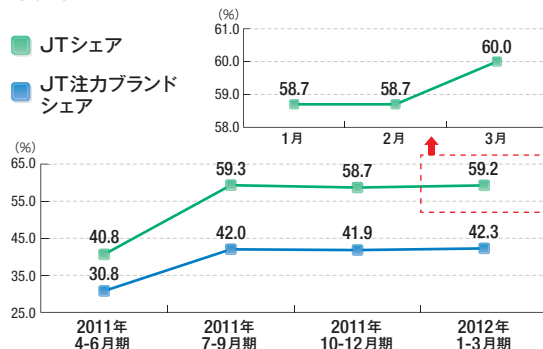
JT 販売数量実績

2010年10月の大幅増税に伴う定価改定による需要減、及び東日本大震災の影響により販売数量が前年に比べ△19.5%と大きく減少しました。



JT 製品/JT 注カブランドの市場シェア

震災の影響により一時大幅に減少しましたが、着実に回復し、3月単月は目標の60%を達成しました。



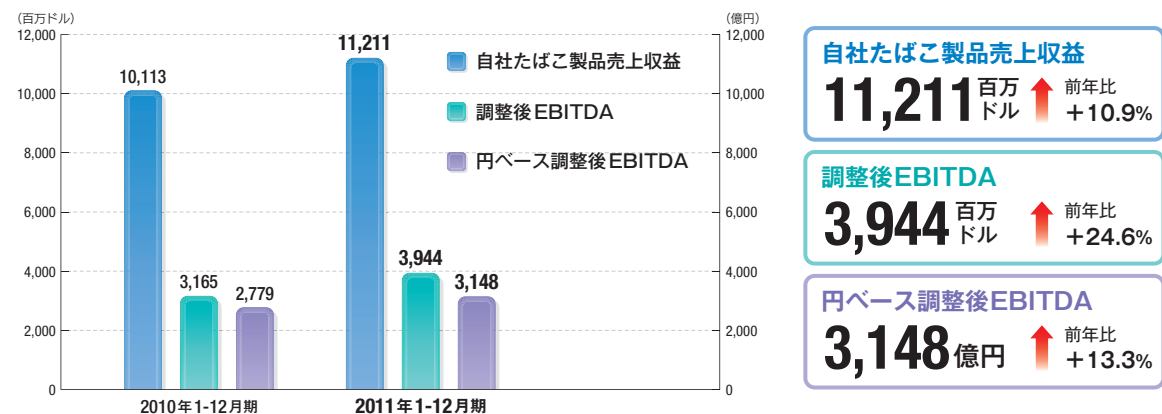
海外 たばこ事業

トップライン成長が牽引し、力強い成果を実現

着実な価格戦略の実行とGFB（グローバル・フラッグシップ・ブランド）販売数量の成長による単価・商品構成の改善に牽引され、2011年も力強い実績^{*}を達成し、増収増益となりました。なお、前年度のカナダ政府への過料支払に伴う費用計上という一時的な要因により、調整後EBITDAは、大きく増加しています。

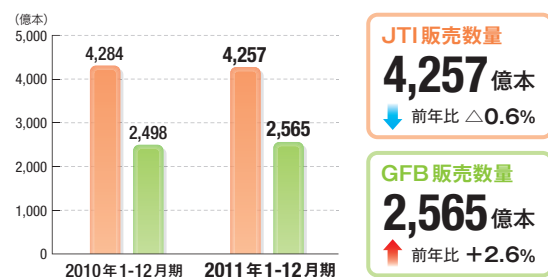
^{*} 一時的な要因を含まない日本基準 EBITDA では、17.4% 成長を達成

海外たばこ事業実績



海外たばこ事業販売数量実績

総需要が減少する中、ブランドへの継続的な投資により、「ウinston」がロシア、イタリア、トルコで、「LD」がロシア、ポーランドで増加し、GFB 販売数量が2.6%成長しました。



主要市場シェア

2010年に引き続き、ほぼすべての主要市場で伸長しました。

	2010年12月	2011年12月	増減
フランス	16.0%	16.4%	+0.4% pt
スペイン	20.8%	21.2%	+0.4% pt
イタリア	19.7%	20.7%	+1.0% pt
英国	38.9%	38.8%	△0.1% pt
ロシア	36.9%	36.9%	—
トルコ	22.6%	24.1%	+1.5% pt
台湾	38.2%	38.2%	—

^{*} AC ニールセン、Logista、Altadis、JTI 推定より。12 か月移動平均
^{*} %pt は、パーセントポイントの略

医薬事業

後期開発品の充実について着実な成果

鳥居薬品（株）における「レミッチカプセル」「ツルバダ配合錠」の好調による増収等により売上収益は33億円増収の474億円となりましたが、開発の進展に伴う研究開発費の増加等により調整後EBITDAは3億円悪化の100億円の損失となりました。営業利益は2億円悪化の135億円の損失となりました。後期開発品については、「JTK-303」を含む配合剤が導出先において承認申請されるなど、着実に成果を上げつつあります。臨床開発品目の2月以降の開発の進展状況は、自己免疫・アレルギー薬「JTE-052」が新規臨床入りし、2型糖尿病治療薬「JTT-851」がPhase2へ移行しました。一方、「JTT-130」「JTK-853」の開発を中止しました。

医薬事業

臨床開発品目一覧（2012年4月26日現在）

開発名 （一般名など）	主な適応症	詳細	権利	開発 地域	開発段階					
					Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認	
JTK-303 （elvitegravir）	HIV 感染症	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社では申請中（配合錠として））	国内						
JTT-705 （dalcetrapib）	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETP活性を調節することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）（注）	国内						
JTT-302	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる		海外						
JTT-751 （クエン酸第二鉄水和物）	高リン血症	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出（鳥居薬品と共同開発）	国内						
JTT-851	2型糖尿病	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する		国内 海外						
JTZ-951	腎性貧血	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる		国内 海外						
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する		海外						
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する		国内						

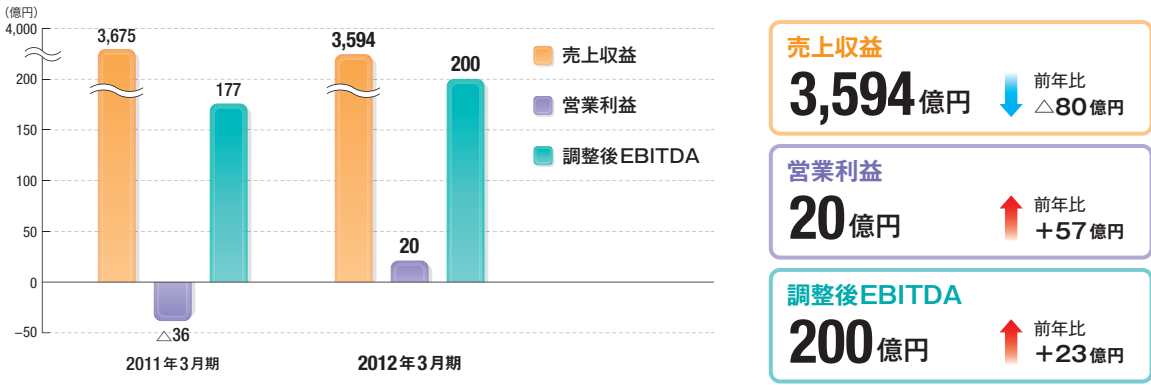
（注）2012年5月7日、ロシュ社は「JTT-705（dalcetrapib）」に関するすべての開発を中止することを発表
※開発段階の表記は投薬開始を基準とする
前回（2012年2月6日）公表時からの変更点：JTE-052の新規臨床入り/JTT-851の国内臨床試験がPhase1からPhase2へ移行/JTT-130、JTK-853の開発中止

食品事業

飲料事業：ルーツブランドの確実な強化を確認
加工食品事業：ステープルへの注力等により収益力も改善

飲料事業においては、主として基幹ブランド「ルーツ」の販売が堅調に推移したことにより増収となりました。加工食品事業においては、冷凍麺や米飯等のステープルの伸長による増加があったものの、前年度に一部事業の廃止をした影響等により減収となりました。従って、食品事業全体では減収となりました。調整後EBITDAは、飲料事業における「ルーツ」の増収効果、加工食品事業における利益率の高いステープルの伸長等の収益構造の着実な改善により、12.8%の増益となりました。

食品事業実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社または当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因

となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科 目	前年度 (2011年3月31日)	当年度 (2012年3月31日)	増減金額
▶ 資産の部			
流動資産	1,258,863	1,331,050	72,187
非流動資産	2,396,338	2,335,957	△ 60,381
有形固定資産	639,324	619,536	△ 19,788
のれん	1,176,114	1,110,046	△ 66,068
無形資産	330,194	306,448	△ 23,745
投資不動産	36,477	67,387	30,910
退職給付に係る資産	6,769	14,371	7,602
持分法で会計処理されている投資	19,072	18,447	△ 625
その他の金融資産	62,661	67,548	4,887
繰延税金資産	125,726	132,174	6,447
資産合計	3,655,201	3,667,007	11,806

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

(単位：百万円)

科 目	前年度 (2011年3月31日)	当年度 (2012年3月31日)	増減金額
▶ 負債の部			
流動負債	1,077,490	1,157,474	79,984
非流動負債	976,400	794,906	△ 181,493
負債合計	2,053,889	1,952,380	△ 101,509
▶ 資本の部			
親会社の所有者に帰属する持分	1,525,145	1,634,050	108,905
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,410	736,410	—
自己株式	△ 94,574	△ 94,574	—
その他の資本の構成要素	△ 250,745	△ 376,363	△ 125,617
利益剰余金	1,034,054	1,268,577	234,522
非支配持分	76,166	80,576	4,410
資本合計	1,601,311	1,714,626	113,315
負債及び資本合計	3,655,201	3,667,007	11,806

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 1 のれん

円高影響により、のれんが減少しました。

point 2 流動負債

休日影響により、未払たばこ税が増加しました。

point 3 非流動負債

長期借入金の返済、社債の償還等により、有利子負債が減少しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年度 (2010年4月1日 ～2011年3月31日)	当年度 (2011年4月1日 ～2012年3月31日)	増減金額
売上収益	2,059,365	2,033,825	△ 25,540
売上原価	953,860	892,034	△ 61,825
売上総利益	1,105,506	1,141,791	36,285
その他の営業収益	20,630	48,512	27,881
持分法による投資利益	2,330	2,047	△ 283
販売費及び一般管理費等	727,144	733,169	6,025
営業利益	401,321	459,180	57,859
金融収益	9,870	5,603	△ 4,266
金融費用	25,949	23,429	△ 2,520
税引前利益	385,242	441,355	56,112
法人所得税費用	136,506	112,795	△ 23,711
当期利益	248,736	328,559	79,823
当期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期利益	243,315	320,883	77,568
非支配持分に帰属する当期利益	5,421	7,676	2,255
当期利益	248,736	328,559	79,823

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 4 営業利益

国内及び海外たばこ事業における単価上昇効果、固定資産売却益の増加ならびに前年度にカナダにおける行政法規違反に係る過料の支払等があったことから増益となりました。

point 5 法人所得税費用

前期に計上した関係会社株式評価損を当期に税務上損金算入することに伴い減少しました。

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年度 (2010年4月1日 ～2011年3月31日)	当年度 (2011年4月1日 ～2012年3月31日)	増減金額
当期利益	248,736	328,559	79,823
税引後その他の包括利益	△ 297,703	△ 136,416	161,287
当期包括利益	△ 48,967	192,143	241,110
当期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期包括利益	△ 54,486	185,425	239,911
非支配持分に帰属する当期包括利益	5,519	6,718	1,199
当期包括利益	△ 48,967	192,143	241,110

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出があったこと及び国内たばこ事業における未払たばこ税が増えたことにより増加しました。

point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済、社債の償還及び配当金の支払いによる支出等によるものです。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前年度 (2010年4月1日 ～2011年3月31日)	当年度 (2011年4月1日 ～2012年3月31日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	406,847	551,573	144,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 125,993	△ 103,805	22,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 185,379	△ 279,064	△ 93,686
現金及び現金同等物の増減額	95,476	168,704	73,228
現金及び現金同等物の期首残高	154,369	244,240	89,871
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△ 5,604	△ 8,204	△ 2,599
現金及び現金同等物の期末残高	244,240	404,740	160,500

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

株式分割・単元株制度の採用について

JTは、2012年6月30日現在の株主様を対象に、7月1日付で1株を200株に分割すると同時に単元株制度を採用し、売買単位を100株とします。

株式分割を実施し、当社株式の1株当たりの投資金額を引き下げること、投資家の皆様により一層投資しやすい環境を整えることを目的としています。

株式分割の方法

2012年6月30日（土）を基準日として、最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき200株の割合をもって分割

分割前後の発行済株式総数

- 株式分割前の発行済株式総数
..... 10,000,000株
- 株式分割後の発行済株式総数
..... 2,000,000,000株

株式分割の日程

- 基準日公告..... 2012年5月31日（木）
- 基準日..... 2012年6月30日（土）
- 効力発生日..... 2012年7月 1日（日）

▶▶ 今回の株式分割に伴う株主優待制度の変更については、次号以降にてお知らせいたします。

単元株制度の採用

単元株制度を採用し、単元株式数を100株とします。

- 効力発生日..... 2012年7月1日（日）

最低投資金額

現 在 43万6,000円

7月以降 21万8,000円

※株価43万6,000円＝5月1日終値の場合

200分割で株価は2,180円に
売買単位：100株 → 2,180円 × 100
＝21万8,000円

- ご 参 考
- I. 今回の株式分割に際しては、資本金の増加はありません。
2012年6月22日現在の資本金…1,000億円
 - II. 今回の株式分割は2012年7月1日を効力発生日としておりますので、2012年3月期期末配当金につきましては、株式分割前の株式が対象となります。
 - III. 効力発生後は、当社株式を1単元である100株以上保有する株主様より、株主総会における議決権を行使することができます。なお、100株未満保有の株主様は、会社法第189条第1項の規定により議決権を行使することができません。

たばこ新商品紹介

イナズマが直撃したような超強メンソール！
ハイライト・イナズマメンソール

5月中旬
新発売！

ハイライト・イナズマメンソールワン・ボックス

- 商品サイズ：フィルター付キングサイズ
- タール値：1mg／本
- ニコチン値：0.1mg／本
- 包装形態：20本入りボックス
- 価格：410円

ハイライト・イナズマメンソール8・ボックス

- 商品サイズ：フィルター付キングサイズ
- タール値：8mg／本
- ニコチン値：0.6mg／本
- 包装形態：20本入りボックス
- 価格：410円

シャープでありながら荒々しいメンソール感“超強メンソール”が特徴の、「ハイライト・イナズマメンソールワン・ボックス」と「ハイライト・イナズマメンソール8・ボックス」の2銘柄が5月中旬より全国発売されました。パッケージは、「ハイライト」のシンプルなデザイン構造を踏襲しつつも、「ロゴ」を前面からはみ出すように配置することで、その枠に捉われない「大胆さ」「豪快さ」を表現し、背景の黒と白で、タール値の違いを表しています。

「ハイライト・イナズマメンソール」2銘柄を投入することで、メンソール商品のラインアップを強化するとともに、さらなるお客様満足を目指していきます。

CLOSE UP!



ランダムで出る底面デザイン

担 当 者 コ メ ン ト

「ハイライト・イナズマメンソール」の開発については、「前例や慣例に捉われることなく、新しいことにチャレンジしていく」という共通認識をチーム全体で持って取り組みました。ロゴを大胆に配置したパッケージ、既存の枠を飛び越えた超強メンソール、2度見してしまうほどの広告表現など……「シンプル＆ダイナミック」というところが、発想の原点になりました。また、底面デザインは3色のカラーがランダムで出るなど、細部にまで遊び心を取り入れました。

皆様もぜひ、雷を体感するような荒々しいメンソールの強い刺激を体感して、ご友人・お知り合いの方に積極的におすすめいただけますと幸いです。

JT たばこ事業本部 M&Sグループ ブランド企画部 佐藤 宏樹





リニューアル
発売!

- ▶ さらに香り高くリニューアル発売
- ▶ 豊かな香りとキレのある後口

ルーツ アロマブラック

300g ボトル缶 / 130円 (消費税別)

担当者コメント

容量も多くリキャップできるボトル缶は、缶コーヒーの飲用シーンを大きく拡大させ、市場は加速度的に伸長中です。2003年に誕生した「アロマブラック」は、中心的存在として市場を牽引してきたバイオニア商品。本格志向のお客様を満足させる味・香りは、移動中に、デスクワーク時に、食事と一緒に……とさまざまな用途で楽しんでいただいています。



JT 飲料事業部 商品統括部 田中 亮



リニューアル
発売!

- ▶ “革命的”に香る
微糖ミルクコーヒー
- ▶ 後口に残らない
ほのかな甘さ

ルーツ アロマレボリユート 微糖

275g ボトル缶 / 140円 (消費税別)



リニューアル
発売!

桃の天然水
500ml ペットボトル
140円 (消費税別)

リニューアル
発売!

辻利
宇治抹茶入り
緑茶
500ml ペットボトル
140円 (消費税別)



下町食堂の焼めし

400g

新発売

- ▶ 香ばしいしょうゆと魚^{ぎょ}醤の味付けがポイント!
- ▶ 独自の「高温短時間炒め製法」で、
外はパラッ、中はふんわり

担当者コメント

デパートの大食堂や街のラーメン屋さんで食べたような、昔懐かしい素朴な味わいをイメージしました。独自技術の「高温短時間炒め製法」で、家庭のレンジ調理でも「外はパラッと中はふんわり」の仕上がりを再現! レタスを加えてレタスチャーハン、あんかけと合わせてあんかけチャーハンなど、アレンジもおすすすめです。ご家族そろってお楽しみください。



テーブルマーク(株) 商品開発部 太田 真裕美

注目商品 LINE UP

- ▶ 稲庭うどん本来の弾力のある
しなやかな食感とのどごしを実現
- ▶ 冷やしうどんでも温かいうどんでも調理OK!

国産小麦稲庭風うどん5食

5食入り / 1000g



冷凍パンシリーズ

クロワッサン
6個入り



お弁当シリーズ

中華ミニ春巻
6本入り / 150g

特集

「経営計画2012」について

持続的な利益成長の実現に向け、「変化への対応力」を強化

JTグループは、不確実性を増す経営環境において、適切にグローバルビジネスを運営し、持続的な利益成長を実現することを目指しています。計画策定時において想定範囲を拡張するとともに、それでも起こりうる想定を超える変化・出来事に対して、素早く・柔軟に対応する「変化への対応力」を強化することが重要なテーマであると認識しています。

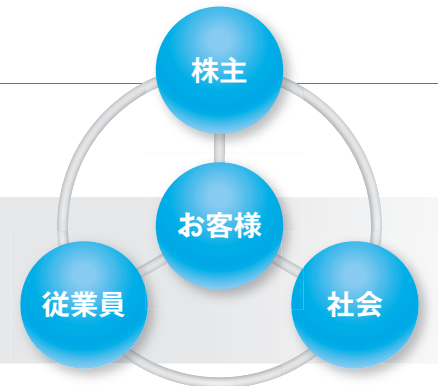
この考え方から、「経営計画2012」においては、これまでの中期経営計画のように3年先の計数目標を設定・公表する方式から、期間を3年とする1年ごとのローリング方式へと変更しました。

年度計数目標については、これまでどおり公表するとともに、3年ごとの計数目標は、中長期の方向性としてガイダンスします。

経営理念は、4Sモデルの追求

4Sモデル

お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者に対する満足度を高めていく



持続的な利益成長のためには、お客様に新たな価値・満足を提供し続けることが前提となり、中長期的な視点から、将来の利益成長に向けた事業投資を着実に実施していくことがもっとも重要であると考えています。さらに、この4Sモデルの追求が、中長期にわたる企業価値の継続的向上につながり、投資家や株主の皆様を含む4者のステークホルダーにとって共通利益となる、ベストなアプローチであると確信しています。

4Sモデルに基づき、中長期の経営資源配分を実行

中長期の持続的な利益成長につながる事業投資を最優先し、加えて、競争力ある株主還元を追求していきます。

事業投資

- たばこ事業の競争力強化に向けた成長投資を最重要視
- 医薬・食品事業は、将来の利益貢献につながる基盤強化に向けた投資に注力

株主還元

- 配当性向と調整後EPS^{※1}成長率のターゲットを設定
 - ・ 配当性向は、グローバルFMCG^{※2}プレイヤーをベンチマーク
 - ・ 調整後EPS成長率は、事業成長による向上を基本とするが、補完する手段として自社株買いも検討
 - ・ なお、2012年度において政府株が放出される場合は、株式市場への影響を緩和すべく、一部自社株買いを実施
 - ・ さらに、将来、政府保有義務の見直しが行われた場合には、その際の放出部分の一部について自社株買いを検討

※1 当期利益（親会社所有者帰属分）からののれんの減損損失、リストラクチャリングに係る収益及び費用等を除く金額を、希薄化後期中平均株式数で除した1株当たり利益成長率

※2 Fast Moving Consumer Goods（日用消費財）

「JT-11」目標を上回る中長期目標を設定

全社利益目標

調整後 EBITDA 成長率（為替一定）

- 中長期にわたって年平均 mid to high single digit^{※1} 成長を目指す

株主還元

連結配当性向

- 2013 年度までに連結配当性向 40% を実現し、その後、中期的に 50% を目指す

調整後 EPS 成長率（為替一定）

- 中長期にわたって年平均 high single digit^{※2} 成長を目指す

※1 「JT-11」で掲げた成長率目標の5%を上回る水準

※2 年平均調整後 EBITDA の成長率を2パーセントポイント程度上回る水準

たばこ事業を「利益成長の中核かつ牽引役」と位置付け

全社中長期目標達成に向けた各事業の目標を設定しました。

事業目標	たばこ事業 ● JTグループ利益成長の中核かつ牽引役として、中長期にわたって年平均 mid to high single digit 成長を目指す 国内：高い競争優位性を保持する利益創出の中核事業 海外：グループ利益の半分以上を創出し、かつ利益成長の牽引役でもある、もう一つの中核事業
	医薬事業 ● 後期開発品の迅速かつ円滑な上市による収益基盤の確立を目指す
	食品事業 ● 不断の改善とそれを基盤とした利益創出力の強化に努め、グループへの利益貢献を目指す 飲料：「ルーツ」を中心としたブランド力・販売力の強化 加工食品：中期的に少なくとも業界平均並みの営業利益率の確保を目指す

グローバル企業として、ガバナンス強化に資する施策を積極的に実施

開示内容の充実

グローバル企業としての開示内容の充実のために、2012年3月期からIFRSを任意適用しました。さらに、国内と海外で決算期が異なるという課題に対しても、全社の決算期を1-12月と改め、2014年12月期から決算期を統一し、2015年からの実施を目指して、諸準備を開始しました。

独立社外取締役の選任

一層のガバナンス強化を実現するため、2012年6月株主総会にて、2名の独立社外取締役を選任しました。

CSRのさらなる推進

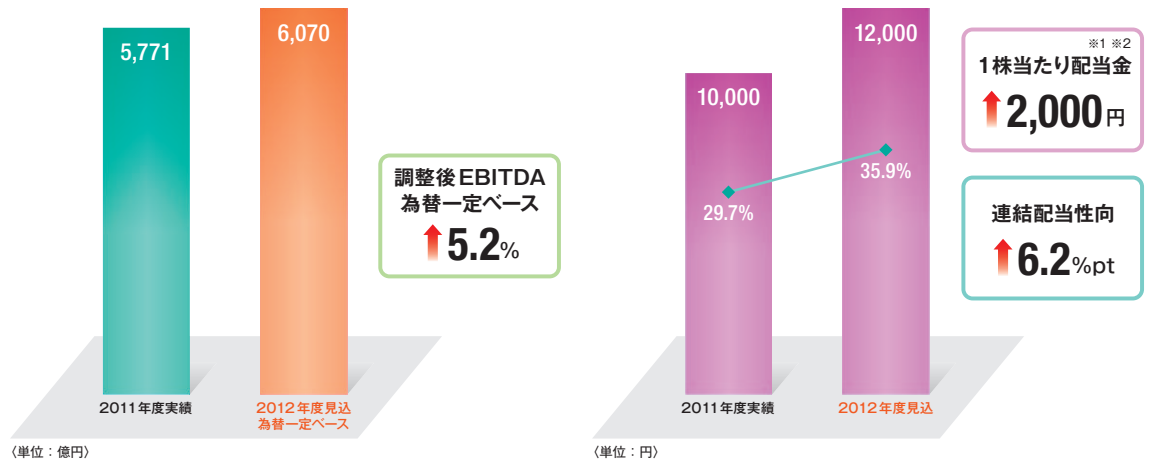
事業と社会との両立を目指したJTグループとしてのサステナビリティ(持続可能性)の推進を目指し、さらに取り組みを強化していきます。

中長期の方向性に基づき、2012年度目標を設定

2012年度の全社調整後 EBITDA の為替一定ベースの成長率は5.2%、配当性向は35.9%を目指します。

全社利益目標 (IFRS)

株主還元 (IFRS)



※1 2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行う予定だが、分割影響を考慮しない数値を掲載

※2 自社株取得の実施状況によって、適切に見直す

IFRS（国際会計基準）について

JTグループは、2012年3月期決算からIFRS（国際会計基準）を任意適用しました。

任意適用の目的

- 資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上
- 国際的な市場における資金調達手段の多様化等

➡ 報告数値に加えて、IFRSで定義されていない指標を追加的に提供します。

追加的に情報を提供する指標

- 自社たばこ製品売上収益
- 調整後EBITDA
- 調整後EPS（調整後希薄化後1株当たり利益）

追加的に情報を提供する目的

- 財務諸表の利用者がJTグループの各事業の業績を把握・評価する上で、有用と思われる情報の提示
- 持続的な成長を目指す上で、一時的な要因を外した基調としての成長率を提示

IFRSになってどう変わる!? こんなところが変わりました！

売上収益（今までの売上高）

変更Point

国内たばこ事業における物流関連の売上高等について代理人取引と判断し、当該取引に係る仕入額（代理取引取扱高）を売上高及び売上原価から控除する方式へ。

(単位：億円)	
日本基準（売上高）	25,471
代理取引取扱高の控除（たばこ・その他）	△5,021
一部物品販売の収益認識時点変更（医薬・食品）	1
一部リベートを販管費からの売上控除へ（医薬・食品）	△109
その他	△3
IFRS（売上収益）	20,338

営業利益

変更Point

- ・のれんの定期償却を停止
- ・退職給付費用に関する変更
- ・国内会社の減価償却方法を定率法から定額法へ変更（海外たばこ事業と統一）
- ・営業外収益、営業外費用、特別利益、及び特別損失に表示していた項目のうち、財務関連項目以外について、売上原価、その他営業収益、持分法による投資利益、または販売費及び一般管理費等へ表示組替

(単位：億円)	
日本基準	3,747
営業外・特別損益からの組替	△147
貯蔵品の費用化（広告宣伝用物品等）	7
固定資産関係（償却費等）	19
退職給付関係	121
のれん償却停止	828
その他	16
IFRS	4,592

金融収益／金融費用

変更Point

営業外収益、営業外費用、特別利益、及び特別損失に表示していた項目のうち、財務関連項目を、金融収益、金融費用へと表示組替。

(単位：億円)	
日本基準	—
表示組替	64
認識及び測定の違い	△8
IFRS（金融収益）	56
日本基準	—
表示組替	△229
認識及び測定の違い	△5
IFRS（金融費用）	△234

当期利益（親会社所有者帰属）

変更Point

IFRS適用に伴う当期純利益への影響額は、のれんの定期償却停止を主因として935億円となります。

(注)日本基準に基づく当期純利益との比較可能性確保のため、対応するIFRSに基づく利益として、親会社所有者帰属当期利益を記載しております。

(単位：億円)	
日本基準（当期純利益）	2,274
認識及び測定の違い	935
IFRS（親会社所有者帰属当期利益）	3,209



自社たばこ製品売上収益（今までの調整後売上高）について、内訳を変更しました。

国内たばこ事業

調整後売上高：輸入たばこ事業、国内免税、中国事業等を除いた実績
 自社たばこ製品売上収益：国内免税、中国事業等を含み、輸入たばこ配送手数料収益等を除いた実績

海外たばこ事業

調整後売上高と自社たばこ製品売上収益とで内訳の変更はなく、名称の変更のみです。

袋物参考館 〔東京都〕



ハンドバッグの誕生には たばこ入れづくりの技があり！

『袋物参考館』は、昭和14（1939）年の創業以来、ハンドバッグの製造・販売を行う「(株) プリンセストラヤ」が運営する資料館です。館内には、同社の製品のみならず、世界各国から収集したハンドバッグ類が展示されています。そして意外なことにここには、江戸時代から昭和初期にかけて製作されたたばこ入れも展示されているのです。

同館の名称にも使われている“袋物”とは、袋状の入れ物の総称。これらはすべて、袋物専門の職人たちの手によって作られていました。実は、この袋物の製作と日本のハンドバッグ業界の成り立ちには、深い関係があったのです。

昭和初期ごろから日本の文化やファッションには大きな変化が生じました。その影響もあり、袋物自体の需要が減少。そこで職人たちは、新たな商品の製作を手がけることになります。ここで彼らが着目したのは、それまで日本ではあまり作られてこなかった女性用ハンドバッグでした。

このような背景から、日本で製造されるハンドバッグには、江戸時代から培われてきた袋物づくりの技がふんだんに盛り込まれています。それゆえ『袋物参考館』では、一見すると無関係とも思えるたばこ入れを中心とした袋物を展示し、これらが日本のハンドバッグ製作のルーツであることを、今に伝えているのです。



江戸時代に製作されたたばこ入れ。袋の端の部分の縫い糸を見せたまま、左右よりから縫う“関清縫”という独自の技術が用いられている



たばこ入れを中心とする袋物のコーナー。江戸時代から昭和初期にかけて製作されたたばこ入れが、時代別に展示されている



袋物の基本形ともいえる合切袋。写真は現在の山梨県を中心に普及していた“信玄袋”。下部の編み籠に布が取り付けられた巾着袋の形状



「(株) プリンセストラヤ」の創業50周年を記念し、平成元年（1989年）に開館した『袋物参考館』。同館では常時、350点ほどのバッグ類を鑑賞することができますが、展示品や展示内容は、その時代の世相などに合わせ、5,000点を超える収蔵品の中から不定期に入れ替えが行われています。

同社の創業者である宮澤高次郎氏は、袋物屋での奉公から身を起し、日本を代表するハンドバッグ・メーカーを築き上げた経歴の持ち主です。宮澤氏は、自身が長く袋物と関わってきたこともあり、同社のバックボーンとも言える袋物の文化や歴史を後世に伝える役割を『袋物参考館』に託したのでしょう。

■袋物参考館

所在地／〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-4-1 (株) プリンセストラヤビル内
(JR総武線、都営地下鉄浅草線「浅草橋」駅から徒歩3分)

お問合せ先／03-3862-2111 (代)

開館時間／10:00～16:00

休館日／不定休

入館料／無料 (要電話予約)

<http://www.princessbag.co.jp/gallery/>



株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所のご変更
- 株式の諸手続きなど
- 配当金の受領方法

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送／返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない／配当金領収証の紛失等のトラブルなど

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎ 0120-232-711 (平日9:00~17:00)

手続き用紙のご請求先

● 音声自動応答電話によるご請求
☎ 0120-244-479 (24時間)

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。

現金受取

株主様

配当金領収証

JT

配当金領収証

ゆうちょ銀行 郵便局

配当金

JT

指定した金融機関口座

配当金

JT

◇個別銘柄（保有する各株式）ごとに銀行等の預金口座を指定して受け取る場合

指定した金融機関口座X

配当金

JT

指定した金融機関口座Y

配当金

A社

◇保有する株式の配当金を一括して銀行等の預金口座で受け取る場合

指定した金融機関口座X

配当金

JT

配当金

A社

◇証券会社の取引口座で受け取る場合（複数の証券会社に残高がある場合は、残高に応じて配分します）

証券会社X・JTの株・●株

●株分の配当金

JT

証券会社Y・JTの株・○株

○株分の配当金

※特別口座をご利用の株主様はご利用できません

役員

取締役

取締役会長 木村 宏
代表取締役社長 小泉 光臣
代表取締役副社長 新貝 康司
代表取締役副社長 大久保憲朗
代表取締役副社長 佐伯 明
取締役副社長 宮崎 秀樹
取締役 岩井 睦雄
取締役 岡 素之
取締役 幸田 真音

監査役

常勤監査役 立石 久雄
常勤監査役 中村 太
監査役 上田 廣一
監査役 今井 義典

執行役員

社長
専務社長 (コンプライアンス・企画・人事・総務・法務・監査担当)
副社長 (医薬事業・食品事業担当)
副社長 (たばこ事業本部長)
副社長 (CSR・財務・コミュニケーション担当)
専務執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)
専務執行役員 (コンプライアンス・総務担当)
常務執行役員 (たばこ事業本部 原料統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 渉外責任者)
執行役員 (たばこ事業本部 製造統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 中国事業部長)
執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)
執行役員 (飲料事業部長)
執行役員 (企画責任者)
執行役員 (コミュニケーション責任者)
執行役員 (たばこ事業本部 R&D 責任者)
執行役員 (たばこ事業本部 事業企画室長)
執行役員 (医薬事業部長)
執行役員 (人事責任者)
執行役員 (財務責任者)
執行役員 (総務責任者)
執行役員 (法務責任者 兼 法務部長)

小泉 光臣
新貝 康司
大久保憲朗
佐伯 明
宮崎 秀樹
飯島 謙二
千々岩良二
村上 伸一
山下 和人
佐藤 雅彦
川股 篤博
春田 純一
永田 亮子
寺島 正道
田中 泰行
米田 靖之
福地 淳一
藤本 宗明
佐々木治道
見浪 直博
山田 晴彦
廣渡 清栄

株価の推移

1994年10月27日上場～2012年5月 当社株価(東証終値、月間)

